

～裾野は 長し 赤城山～

赤城山南麓の古墳



The Omuro Park®

西大室丸山遺跡の土器

すその なが あかぎやま
裾野は長し赤城山

赤城山は、群馬県のほぼ中央に位置しカルデラ湖を持つ関東地方で有数の複式火山で、かつては富士山型の2500m級のコニーデ式火山であったと言われています。榛名山、妙義山とともに上毛三山の一つに数えられ、日本百名山、日本百景の一つにも選ばれています。中央のカルデラの周囲を1200~1800mの峰々が取り囲んでおり、その外側にも広く緩やかな裾野が高原台地をなしており、旧石器時代から現在まで人々の生活を育んできました。

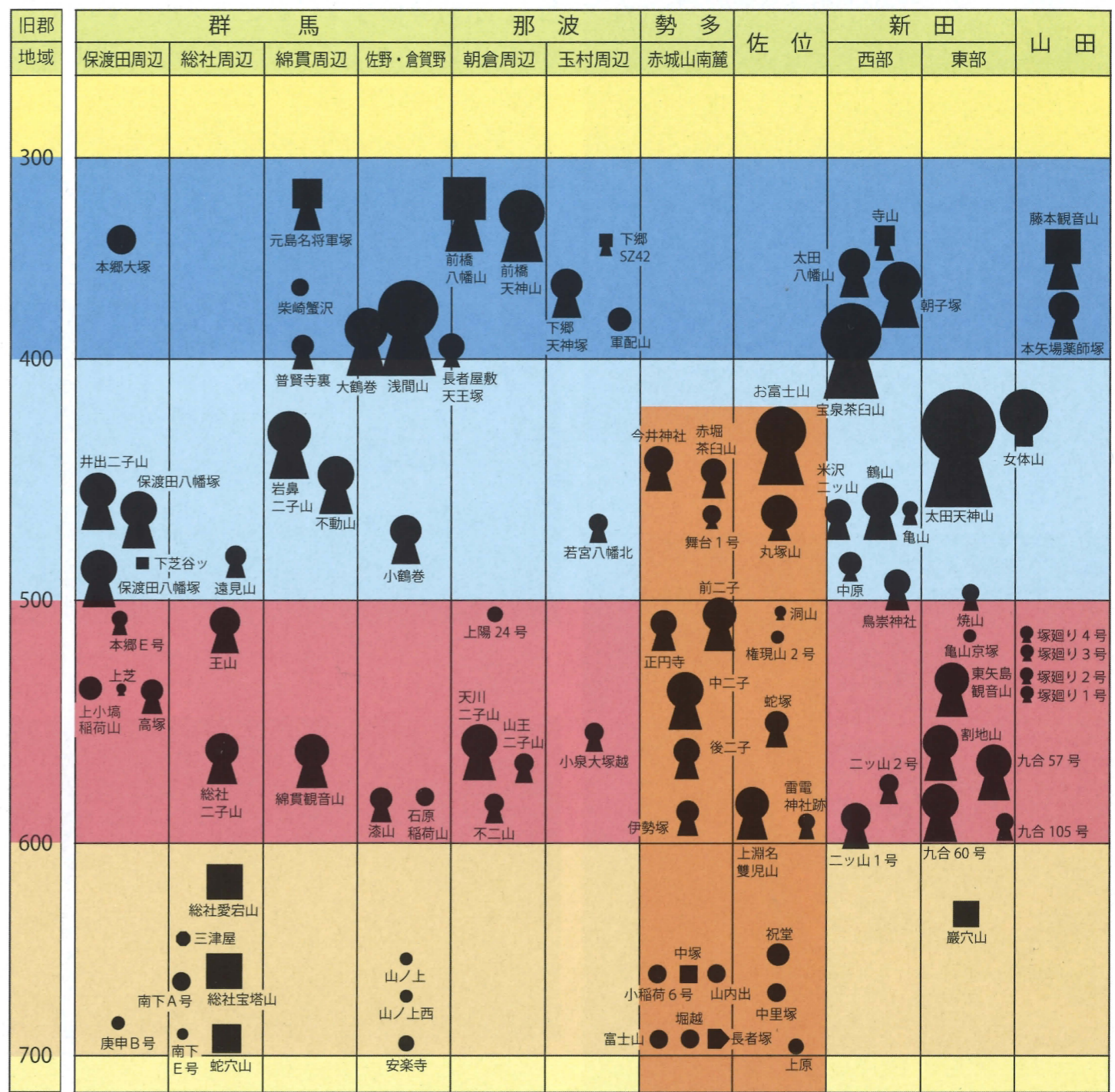


No.	古墳名・形状・規模	時期	所在地
1	前二子古墳・前方後円墳・94m	後期	前橋市西大室町2657-4
2	中二子古墳・前方後円墳・111m	後期	前橋市東大室町1501
3	後二子古墳・前方後円墳・85m	後期	前橋市西大室町2616-1
4	小二子古墳・前方後円墳・38m	後期	前橋市西大室町2616-1
5	お富士古墳・前方後円墳・125m	中期	伊勢崎市安堀町799
6	赤堀茶臼山古墳・前方後円墳・62.4m	中期	伊勢崎市赤堀今井町2-甲995-1
7	釜ノ口遺跡(家形埴輪)・集落跡	中期	伊勢崎市堀下町574-4
8	一ノ関古墳・前方後円墳・推定60m	後期	伊勢崎市本関町1298-3
9	鶴巻古墳・円墳・34m	後期	前橋市東小保方町3757
10	今井神社古墳・前方後円墳・71m	中期	前橋市今井町818
11	正円寺古墳・前方後円墳・65m	後期	前橋市堀之下町155
12	荒子杉山古墳・円墳・約30m	終末期	前橋市荒子町新宿1188-19
13	新田家古墳・円墳・45m	後期	前橋市上泉町2694-1
14	荒砥富士山古墳・円墳・36m	終末期	前橋市西大室町813
15	九十九山古墳・前方後円墳・約60m	後期	前橋市富士見町原之郷275-1

No.	古墳名・形状・規模	時期	所在地
16	上庄司原1号古墳・円墳・24m	後期	前橋市富士見町横室279横室古墳公園
17	上庄司原2号古墳・円墳・20m・移設	後期	前橋市富士見町横室279横室古墳公園
18	上庄司原4号古墳・円墳・16m・移設	終末期	前橋市富士見町横室279横室古墳公園
19	大胡町39号墳・円墳・12m・不詳	後期	前橋市大胡町横沢89
20	堀越古墳・円墳・25m	終末期	前橋市大胡町堀越861-1
21	白山古墳・円墳・約20m	終末期	前橋市苗ヶ島1659
22	壇塚古墳・円墳・約40m	後期	前橋市粕川町月田191
23	鏡手塚古墳・前方後円墳・約50m	後期	前橋市粕川町月田213
24	白藤P-6号墳・円墳・22.7m・消滅	中期	前橋市粕川町膳
25	白藤V-4号墳・円墳・21.6m・消滅	中期	前橋市粕川町膳
26	近戸4号墳・円墳・16m・消滅	中期	前橋市粕川町深津
27	近戸神社・宝物	中期	前橋市粕川町深津1437
28	中塚古墳・方墳・35m	終末期	桐生市新里町新川12592-3
29	長者塚古墳・五角形墳・36m	終末期	桐生市新里町関194

あかぎやまなんろく こふん うつ か
赤城山南麓の古墳の移り変わり

赤城山南麓の古墳は5世紀後半~8世紀までさかんに造られます。お富士山古墳が造られた時代は、まだヤマト王権と緊張関係があり、その中で王者の棺・長持形石棺がもたらされました。6世紀前半には、中央のヤマト王権から竪穴式主体部に替わる横穴式石室がいち早く伝えられます。赤城山南麓でも、直ちに正円寺古墳や前二子古墳、九十九山古墳に採用されました。7世紀にも赤城南麓は載石切組積の石室がたくさん造られました。



赤城山南麓の古墳変遷図(雄山閣 全国古墳編年集成より)

大室公園は、群馬県前橋市に位置する37haの広大な総合公園です。日本の歴史公園100選に選ばれています。園内には史跡整備された国指定史跡前二子・中二子・後二子・小二子古墳のほか、石の風鈴のある「風のわたる丘」、水時計のオブジェとカスケードのある「時の広場」、かつて石切場であった窪地に水琴窟による音の仕掛けをした「岩室ゾーン」、水生生物とのふれあいの場所とした「親水ゾーン」、人里の情景を再現させた赤城型民家（養蚕農家）を中心とした「民家園」「大室はにわ館」「藤棚」などがあります。



副葬品が再現された前二子古墳の石室



後二子古墳の墓道と石室



小二子古墳の墳輪展示

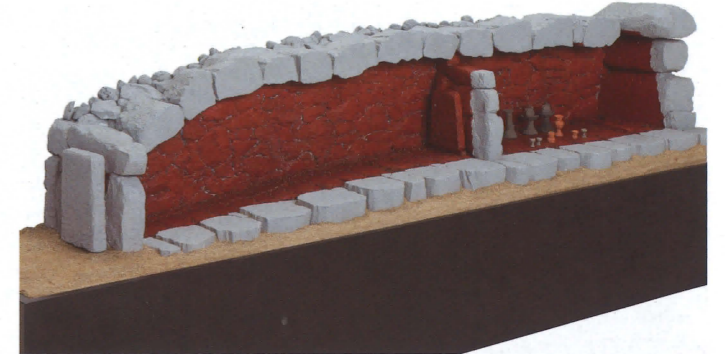


中二子古墳中堤の墳輪列

1500年前に造られた国指定史跡前二子古墳の石室に、副葬されていた遺物を市民ボランティアの手で復元し、石室に納める「前二子古墳石室復元市民プロジェクト」事業を平成18年度から24年度まで行いました。平成26年度から3ケ年事業で「大室古墳の教室」を開始し、小学生夏休み森の考古学教室、一般向けの考古学講座、匠の教室、考古学講演会など普及事業や「大室はにわ館」、藤棚の建設など各種事業を展開しています。



前二子古墳石室模型



前二子古墳石室模型 羨門と玄門の閉塞石を閉じた様子



民家園庭の展示



民家園土蔵を改装した「大室はにわ館」1階の展示



民家園主屋「うまや」を改装した盾持人埴輪展示場

おうじゃ ひつぎ ながもちがたせつかん も ふじやまこふん
王者の棺・長持形石棺を持つお富士山古墳

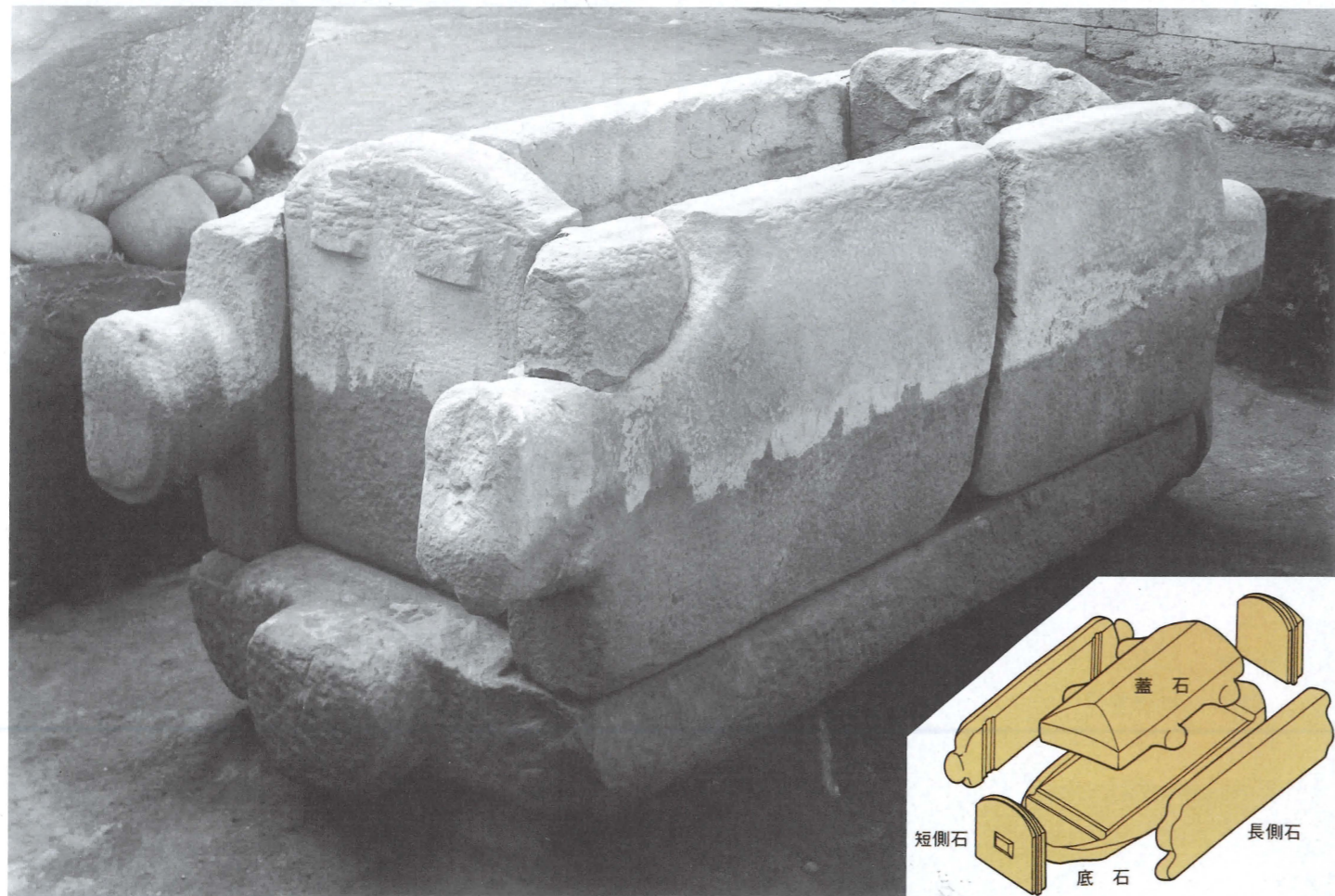
お富士山古墳は、全長が125mある大型前方後円墳です。前方部は、明治21年に鉄道の工事で削り取られてしまいましたが、全体の形状を良くとどめています。墳丘は3段構造で、周囲に盾形の堀が巡っています。後円部の墳頂の傍らに王者の棺といわれる砂岩製の長持形石棺が展示されています。お富士山古墳の長持形石棺は、全長285cm、幅121cm、高さ115cm、重さ約6.8トンです。長持形石棺は一般的に、兵庫県高砂市で産出する龍山石を使って生産され、有力な支配者層の古墳に運ばれていますが、お富士山古墳の石棺は地元の石材を使用してヤマト王権御用達の工人の手で製作されました。



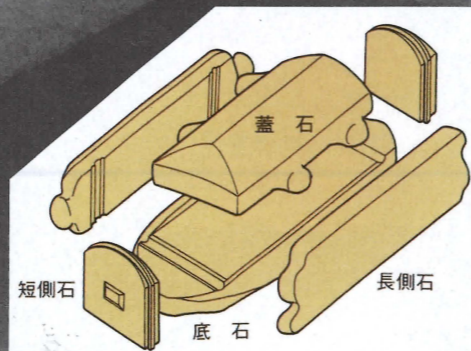
お富士山古墳



長持形石棺の出土地
 『城陽市歴史民俗資料館常設展示案内』より



お富士山古墳の長持形石棺

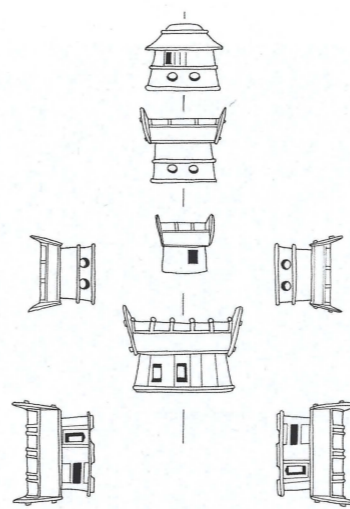


石棺展開図

いえがたはにわ ちよめい あかぼりちやうすやまこふん
家形埴輪で著名な赤堀茶臼山古墳

昭和4年に東京国立博物館によって調査され、平成7～9年に旧赤堀町教育委員会で追加調査を行いました。8棟の家形埴輪が発見されたことから、全国的に著名な古墳です。墳丘は前方部が低く短い帆立貝形の前方後円墳です。後円部には2基の木炭塚があって、神獸鏡や内行花文鏡、短甲をはじめとする副葬品が出土しました。

近年、堀下町釜ノ口遺跡から赤堀茶臼山古墳の家形埴輪に類似した埴輪が出土して話題となりました。



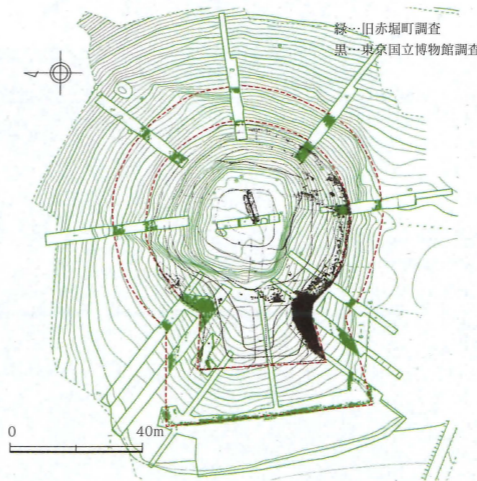
家形埴輪配置 (小笠原好彦案)



東京国立博物館に収蔵されている家形埴輪



堀下町釜ノ口遺跡出土の家形埴輪



赤堀茶臼山古墳平面図
 (赤堀茶臼山古墳パンフレットより)



空からみた赤堀茶臼山古墳

いちのせきこふんしせきこうえん つるまきこふんしせきこうえん
一ノ関古墳史跡公園と鶴巻古墳史跡公園

いちのせきこふん
 一ノ関古墳は6世紀後半に造られた前方後円墳です。かつては全長60mを超える前方古円墳でしたが、東を流れる粕川によって前方部は削り取られてしまいました。史跡整備されて駐車場が完備され、覆いのかかった施設で横穴式石室を安全に見学することができます。前面には墓道がある横穴式石室は、全長6m・高さ2mです。

つるまきこふん
 鶴巻古墳は、西側に造り出しを持つ直径34mの円墳です。6世紀後半に榛名山が噴火した時に噴出した軽石を使ってつくられた横穴式石室も良く残っています。石室は、長さ5.2m、幅2.1mあります。



一ノ関古墳の墓道を持つ横穴式石室



鶴巻古墳史跡公園の入口



一ノ関古墳と駐車場入口

いまいじんじゃこふん しょうえんじこふん
今井神社古墳・正円寺古墳

いまいじんじゃこふん
 今井神社古墳は、荒砥川の左岸の低い台地に造られました。全長71mの前方後円墳の形は良く残っています。境内に積まれた凝灰岩製の石棺には四隅に縄掛け突起があることから長持形石棺の系譜をひいた組合せ式石棺と考えられます。しょうえんじこふん
 正円寺古墳は、全長65mの前方後円墳で旧利根川を一望できる場所にあります。墳丘の南側には本堂がありますが、墳丘や周堀が良く保存されています。後円部の横穴式石室は埋め戻されたため、現在は見学できません。ほかに墳丘からたてあなしきけい 縦穴式系のしょうせきかく 小石槨がみつかりました。



荒砥川、今井橋からみた今井神社古墳



今井神社境内に積まれた組合せ式石棺



満開の桜に彩られた正円寺古墳

あらこすぎやまこふん につたづかこふん あらとふじやまこふん
 荒子杉山古墳・新田塚古墳・荒砥富士山古墳

あらこすぎやまこふん じょうもうこふんそうらん あらとむら
 荒子杉山古墳は、『上毛古墳綜覧』に荒砥村第1号として掲載されています。発掘調査の結果、
 きりいしきりくみづみ につたづかこふん
 径約30mの円墳で截石切組積の石室であることがわかりました。新田塚古墳は、径約30m
 の円墳で、北東部には周堀の窪みが残されています。近年、上武国道の工事によって周囲を削
 られてしまいましたが、形状を良く残しています。あらとふじやまこふん
 荒砥富士山古墳は、径36mの円墳で南
 せんもん げんもん へいそくいし
 開口する横穴式石室は截石が一部に使われ、截石製の羨門と玄門は閉塞石をはめ込む構造
 になっていました。なお、荒砥村には膨大な数の古墳が残されていたため、1年間の日数と
 同じ365基で記録を留めたといわれます。



住宅地に保存された荒子杉山古墳



上武国道に隣接する新田塚古墳



見事な閉塞石を持つ荒砥富士山古墳

ふじみちく つくもやまこふん よこむろこふんこうえん
 富士見地区：九十九山古墳・横室古墳公園

つくもやまこふん
 九十九山古墳は九十九山に造られた全長60mの前方後円墳です。石室は全長8.5m、入口
 しよきそでなしがた
 幅0.9m、奥壁幅2.0mの初期袖無形横穴式石室です。

横室古墳公園には3基の古墳が復元されています。現状保存された上庄司原1号墳、石室
 かみしょうじはら
 が移設保存された2号墳と4号墳です。1号古墳は径24mの円墳です。石室は自然石を使
 った両袖型横穴式石室で墓道状の前庭があります。2号墳は直径約20mの円墳で、榛名山
 噴出の軽石を削って積んだ両袖型横穴式石室が移設されています。4号墳は直径16mの円
 墳で、截石切組積の両袖型横穴式石室が移設されています。



九十九山古墳の石室



朱線が残された上庄司原4号墳の石室（調査写真）



横室古墳公園（奥の墳丘が1号墳、手前の石室が2号墳）

おおごちく ほりこしこふん よこざわこふん
大胡地区：堀越古墳・横沢古墳

堀越古墳は径25mの円墳で、南西方向に横穴式石室が開口しています。全長6.9mを測る両袖型の截石切組積石室は粗粒安山岩を使用しています。石室の前には広い前庭施設がありました。大胡町横沢地内から幅6.7cmの金メッキされた青銅製の獅噛環頭大刀柄頭が昭和59年に発見されました。これは、大胡町39号墳の副葬品であることが判明しました。獅噛環頭は、怪獣に似た鬼神の面であり、「舌出し獣面紋」として世界各地に広く分布している文様的一种といえます。



大胡町39号墳出土の獅噛環頭柄頭



舌出し獣面（現代タイ）



白土が残る堀越古墳の石室



広い前庭施設を持つ堀越古墳

みやぎちく はくさんこふん
宮城地区：白山古墳

白山古墳は昭和29年に遺物が出土したことにより群馬大学が調査することになりました。調査によって長さ4m以上、幅3m以上の大きな横穴式石室になることが判明しました。白山古墳からは和同開珎8枚、蕨手刀、方頭大刀、飛燕型鉄鏃、佐波理椀などの遺物が出土しました。和同開珎と蕨手刀は盛岡市や花巻市など東北地方の古墳から出土しています。蕨手大刀は東北地方の有力者層とのかかわりのある副葬品といわれていますが、もともと広く全国に分布していたものが、古墳の副葬品や関東や東北地方で珍重されたことと考えられます。



復元された白山古墳の副葬品



白山古墳

かすかわちく かがみてづかこふん だんづかこふん
粕川地区：鏡手塚古墳・壇塚古墳

鏡手塚古墳は全長50mの帆立貝形の前方後円墳です。墳丘から10mほど離れて周堀が巡る基壇を有する古墳です。6世紀後半になると粕川流域には基壇を有する古墳がたくさんつくられます。壇塚古墳は経40mの円墳で、昭和25年に群馬大学によって調査されました。その結果、前庭部を持つ長さ7mの横穴式石室や墳丘頂上から大型の家形埴輪3個を含む器財埴輪を発見できました。白藤V-4号墳の馬形埴輪は「ぐんまちゃん埴輪」といわれ、ユーモラスな顔をした人気もの。同様の馬形埴輪は、大泉町古海松原11号墳、本庄市北大竹1号墳、『角川写真文庫・埴輪』の馬形埴輪などがあります。近戸4号墳の三鈴杏葉は、深津近戸神社の宝物と一対をなすものです。



壇塚古墳



参考資料：『角川写真文庫・埴輪』に掲載された馬形埴輪



白藤V-4号墳



白藤P-6号墳



鏡手塚古墳



近戸4号墳(左)と深津近戸神社(右)の三鈴杏葉

きりゆうしにいさとちく なかつかこふん せきちやうじゃづかこふん
桐生市新里地区：中塚古墳・関長者塚古墳

中塚古墳は、一辺35mの方墳です。横穴式石室は南に開口し、全長7.7mの両袖型の截石切組積石室で、石材には赤城山産の粗粒安山岩を使っています。高崎市山名町にある山上碑の碑文には「新川臣」という人物の存在が確認できます。その人物が桐生市新里町新川地区を拠点とした人物と考えられています。その地に同時期に築かれた中塚古墳は「新川臣」と関連性が高いと考えられています。

関長者塚古墳は、東西長36m、南北長22mのホームベースに似た五角形墳です。全長6.5mの両袖型の截石切組積石室であり、赤城山南麓の古墳の中でも最も高い標高350mに立地しています。



中塚古墳の截石切組積石室



中塚古墳

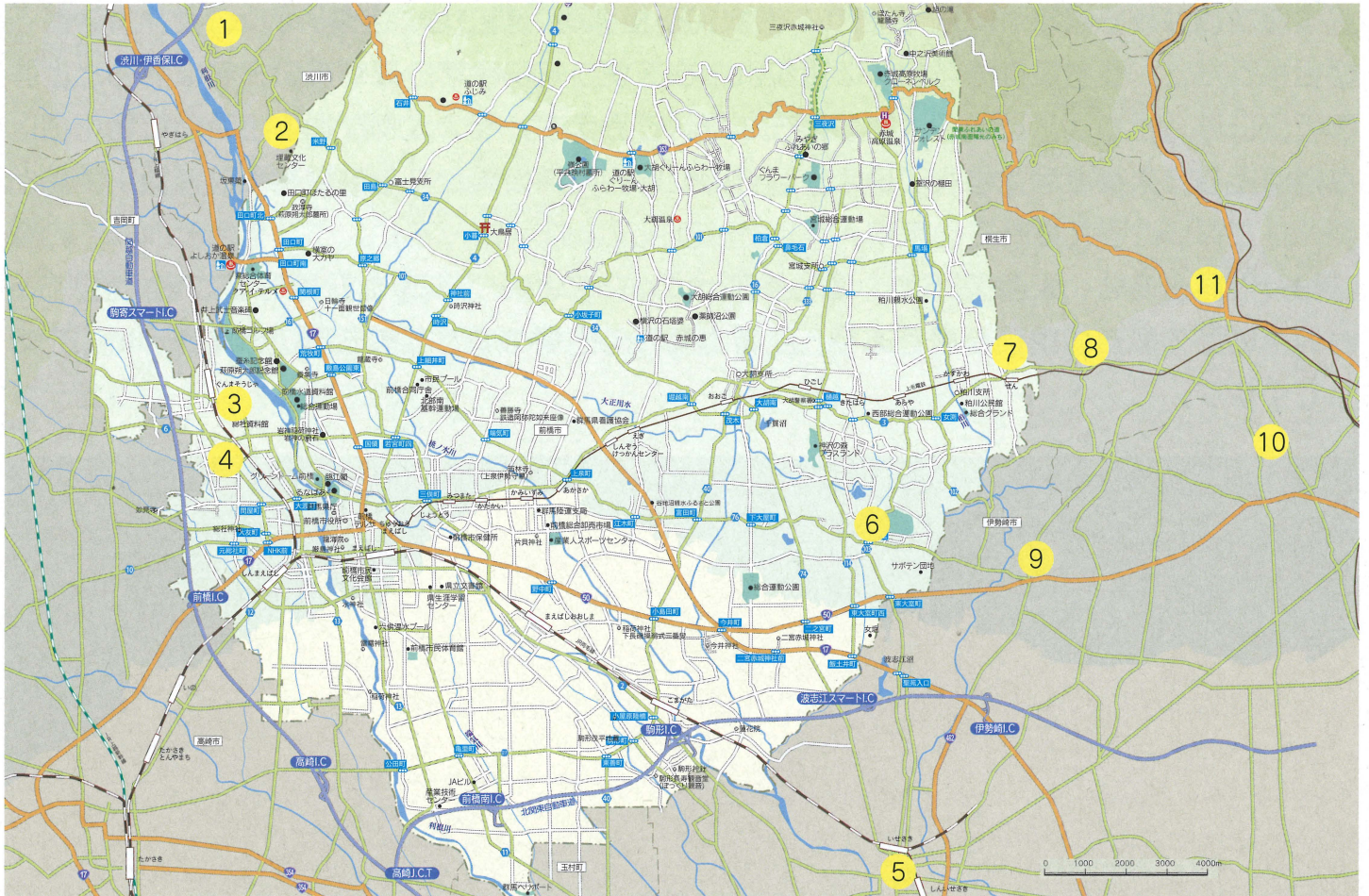


関長者塚古墳の入り口。



関長者塚古墳の玄室側壁

あかぎやまなんろく てんじしせつ あんない
赤城山南麓の展示施設のご案内



No	名称	所在地	電話	開館時間	休館日
1	渋川市北橋歴史資料館	377-0062 渋川市北橋町真壁246-1	0279-52-4094	9:00-17:00	月曜日、祝日の翌日、年末年始
2	群馬県埋蔵文化財センター発掘情報館	377-8555 渋川市北橋町下箱田784-2	0279-52-2513	9:00-17:00	土曜日、祝日の翌日、年末年始
3	前橋市総社資料館	371-0853 前橋市総社町総社1584-1	平成28年10月オープン予定		
4	前橋市文化財保護課総社ギャラリー	371-0853 前橋市総社町3-11-4	027-280-6511	9:00-17:00	土・日曜日、祝日、年末年始
5	相川考古館	372-0046 伊勢崎市三光町6-10	0270-25-0082	9:00-16:30	月曜日、年末年始
6	大室はにわ館	379-2104 前橋市西大室町2510	027-268-0439	9:00-16:00	4~11月…月~水、祝日開館 12~3月…月~金、祝日開館 年末年始
7	前橋市粕川歴史民俗資料館	371-0204 前橋市粕川町膳48-1	027-230-6388	10:00~16:00	月・火曜日(祝日は開館)、 年末年始
8	桐生市新里郷土資料館	376-0123 桐生市新里町武井693	0277-74-3881	9:00-17:00	月曜日、祝日、年末年始
9	赤堀歴史民俗資料館	379-2204 伊勢崎市西久保2-98	0270-63-0030	9:00-17:00	月曜日、祝日の翌日、年末年始
10	岩宿博物館	379-2311 みどり市笠懸町阿佐美1790-1	0277-76-1701	9:30-17:00	月曜日、祝日の翌日、年末年始
11	みどり市大間々博物館 コノドント館	376-0101 みどり市大間々町大間々1030	0277-73-4123	9:00-17:00	月曜日、祝日の翌日、年末年始

写真提供

- 荒砥丸山遺跡の土器=小川忠博氏
- 赤堀茶臼山古墳家形埴輪=東京国立博物館
- お富士山古墳の石棺・赤堀茶臼山古墳空中写真
釜ノ口遺跡家形埴輪=伊勢崎市教育委員会
- 荒砥富士山古墳、堀越古墳、中塚古墳
関長者塚古墳=深澤敦仁氏
- 赤城山背景図=南香織氏

表紙写真

- 西大室丸山遺跡…前橋市西大室町1128-1に存在した巨石祭祀遺跡。祭祀用土器・石製品1万点以上出土

参考文献

- 群馬県教育委員会 群馬県の史跡 古墳編
- みやま文庫201 群馬の古墳を歩く
- 前橋市教育委員会 新版前橋の文化財
- 前橋市教育委員会 増補前橋の文化財
- 伊勢崎市教育委員会 史跡紹介パンフレット
- 新泉社 東国大豪族の威勢・大室古墳群
- 角川書店 角川写真文庫 埴輪

～裾野は 長し 赤城山～

赤城山南麓の古墳

平成28年2月29日発行

前橋市教育委員会事務局文化財保護課
〒371-0853 前橋市総社町三丁目11-4
電話027-280-6511

Eメール bunkazai@city.maebashi.gunma.jp